

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

肺炎患者における入院前居住環境への退院と嚥下状態の 関連について

1. 研究の対象

2020年4月～2021年3月までに肺炎の診断名で当院に入院されていた患者さん

2. 研究目的・方法

高齢者の肺炎発症は誤嚥と大きく関係しており、誤嚥を引き起こす摂食・嚥下障害の患者割合は増加しています。また、摂食・嚥下障害のある患者の身体機能、精神機能、口腔機能いずれにおいても機能が高い方が自宅退院を選択する割合が高い傾向にあります。

本研究では、今まで明らかになっていない『入院前の居住環境への退院』に摂食・嚥下能力が影響するかについて、当院の症例を対象に調査を行い検討することにしました。

研究の期間は当院の長の承認を受けてから2022年6月23日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院既存の以下の臨床情報を収集します。

研究対象者背景：肺炎の種類(誤嚥性・細菌性・それ以外)、性別、年齢、既往歴(脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、神経難病、認知症)、初回介入時GCS、入院前居住環境、OAG、藤島式摂食・嚥下グレード(初回・退院時)、歩行リハ、退院先、リハ介入(単位・日数)

本研究に試料は取り扱いません。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は当院単独で実施するため、外部への資料・情報提供は該当しません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、当該研究について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

平山 佳那（ひらやま かな）

岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 げんごちようかくし 言語聴覚士

〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1

072-445-9915（代表）

または

岸和田徳洲会病院 臨床試験センター（臨床研究担当者 宛）

<当院の研究責任者>

リハビリテーション科 言語聴覚士 平山 佳那（ひらやま かな）

（2022年3月28日作成）